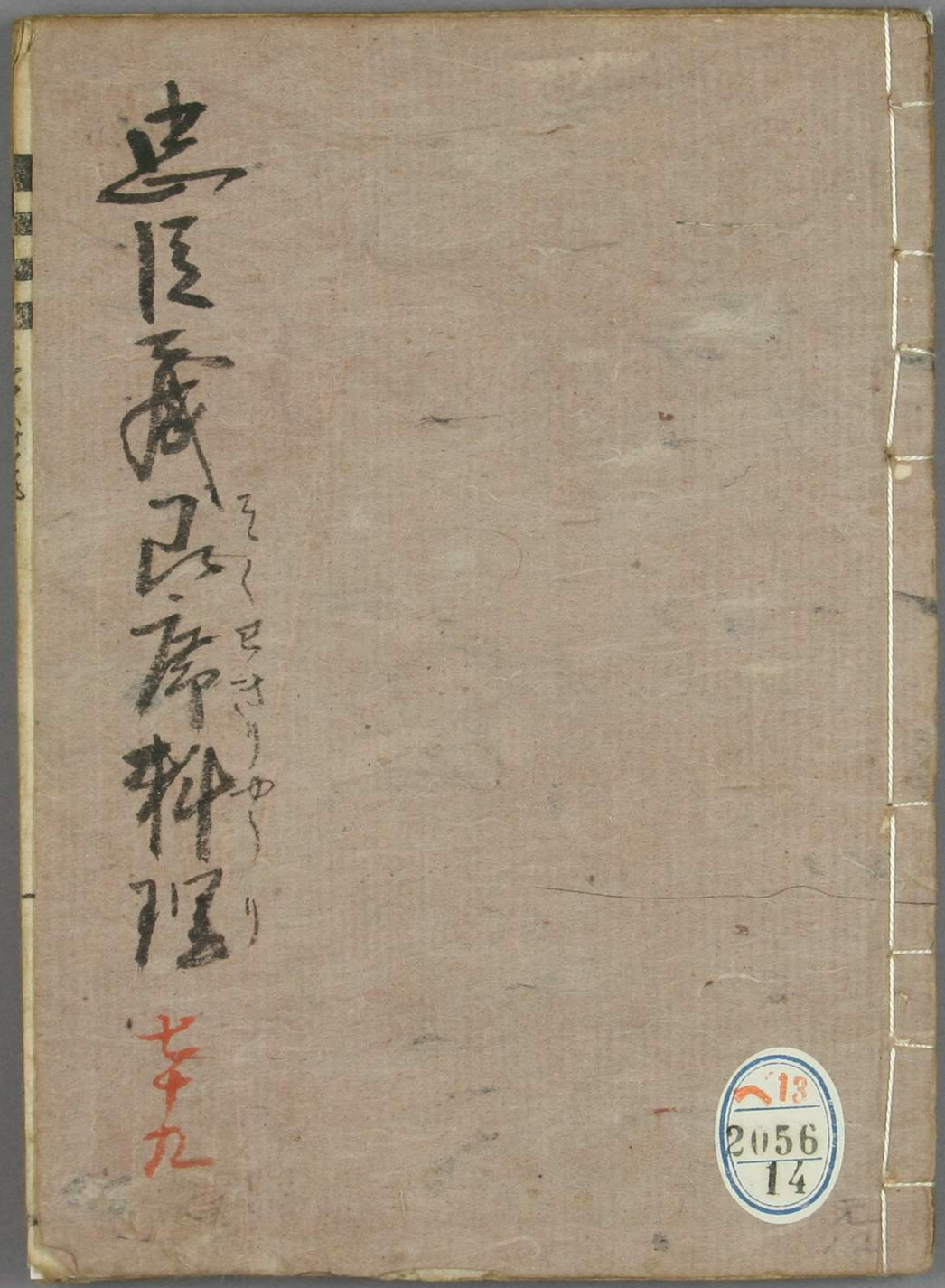
忠臣義士傳
中村座
十九
へ13
2056
14

14
へ13 特
2056
14

忠臣蔵郎席料理　袋入御望次第

口上

私儀世度忠臣義郎席料理と申。新仕出と申。勿論
會組の歌立。板本の塩梅と入口合義味仕り。惣
切乃料理の現蓋作者も鹿丁土産の巣。三冊扣
の三つ物。松魚ひと芹子ふなが物鳥
つまり。振鶏卵の黄表紙。京昆布花鰹でも。至
極よ夫より土り義草海苔の濃ぐ。素白麩を仕地口
秀句。小素麺太安賣仕り。平賣出。毎日より。
我もくと御求下。御見廣出評判宜敷帝上り

甲寅初春　料理人　山東京傳

吸物膳
四拾七人前

「でゝ〜さ
なぞうゆふ
あらぬぞよ

「これ〜くいさ〜〜りろそく
ろうやろうりけこひさろ
かすしけうをびい
どちらうでわらやさん
ちんせん
やくわと
そうそで
せあそころの
りつおと
でたいろ
らろうけ
でを
ちんせろふ
アハハ〜〜〜

勅
勅

漢
中

山崎
ふぐ汁
ふぐ
しらぬひ

一力

天川儀平
鱈仕入帳

天川屋

天川屋
江戸前
大かば焼

甲寅春新板

忠臣蔵沖席料理 京傳作 三冊
眉間尺三人泥醉 京傳作 三冊
義経一代記 全十冊
頼朝一代記 全十二冊
清盛一代記 全十二冊
楠一代記 全十冊
大益天神記 全十冊
全交注師津称章 全交作 三冊
竹齋老宝山吹色 全交作 三冊
通俗三国志 全十冊
同漢楚軍記 全十冊
御伽太平記 全十冊
源平藤橘軍配團 全十冊
栄花物語 全十冊

右之絵本仕方のかしこせんも出来ひ江戸通油町
御りとあ出来ひ拙者新上板
鶴屋喜右衛門版

宝暦寅年

58